

TANT ROMBO

game by Trúlie Okamocěk



COMPONENTS

18 色のカード × 2 = 36 枚
アルファベットのコマ 9 枚
ダイス 1 個

* 三鷹天命反転住宅バージョンには、14 色の
カード × 3 = 42 枚のカードが入っています。

1. LUCK & MEMORY

運と記憶

プレイの人数：2～6人

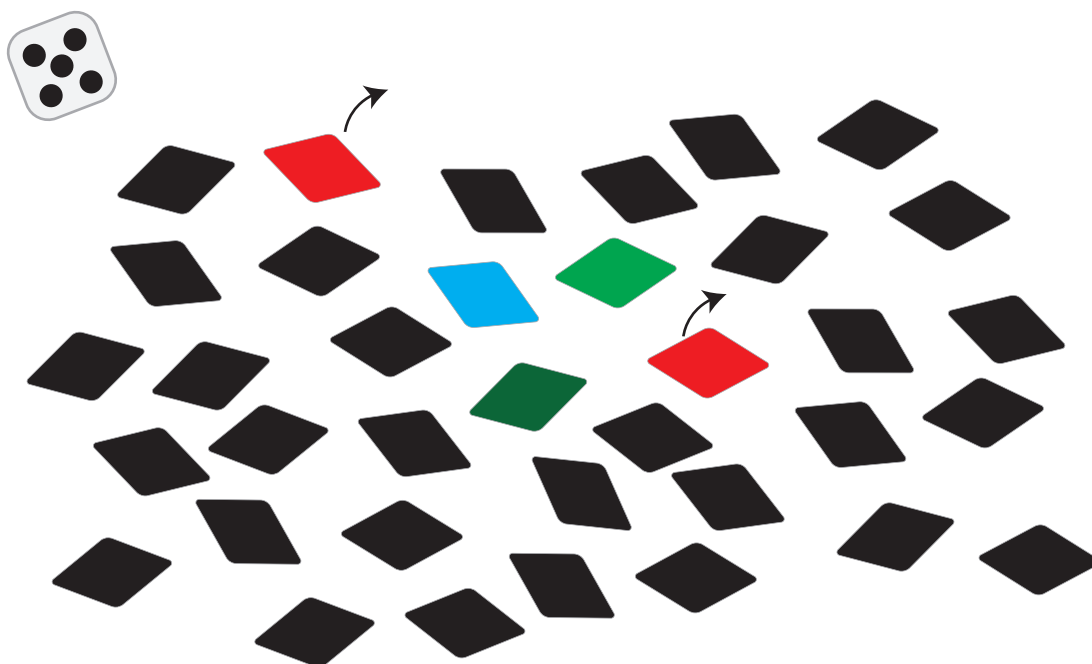
ゲームの目的：カードをいちばん多く集めた人が勝ち

ゲームの準備：黒い面を上にしてテーブル上にランダムに並べる。

ダイスを側に置く。

ゲームの順番：ダイスをふっていちばん大きな数を出した人から、時計回り。

1. ダイスをふって、でた目の枚数だけめくる。プレイヤー全員が見えるように。
(1が出たときは1枚だけめくり、もとに戻し、次のプレイヤーのターンになる)



2. 2枚同じ色がそろったカードを手札にする。あわなかったカードは元に戻す。
3. そろっても、そろわなくても次のプレイヤーのターンになる。
4. 場のカードがぜんぶなくなったら、ゲーム終了。手札の多い人が勝ち。

2. FLOWERS

フラワーズ

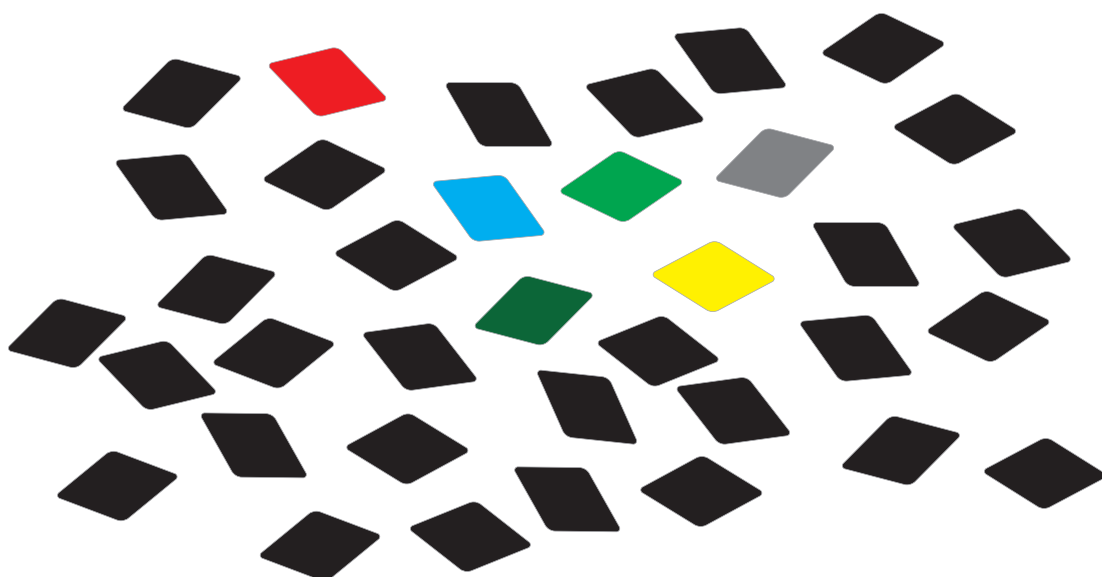
プレイの人数：2～6人

ゲームの目的：花をたくさん作る

ゲームの準備：黒い面を上にしてテーブル上にランダムに並べる。

ゲームの順番：ダイスをふっていちばん大きな数を出した人から、時計回り。

1. 違う色のカードを6枚そろえると、手札にできる。
2. 1枚ずつカードをめくっていき、同じ色のカードが出たら、すべてのカードをもとに戻す。



3. カードがそろったら、手元に花の形に並べる。
そろってもそろわなくても次のプレイヤーのターンに。



4. 先に花を2つ作った人が勝ち。



3. ROAD & TOWERS

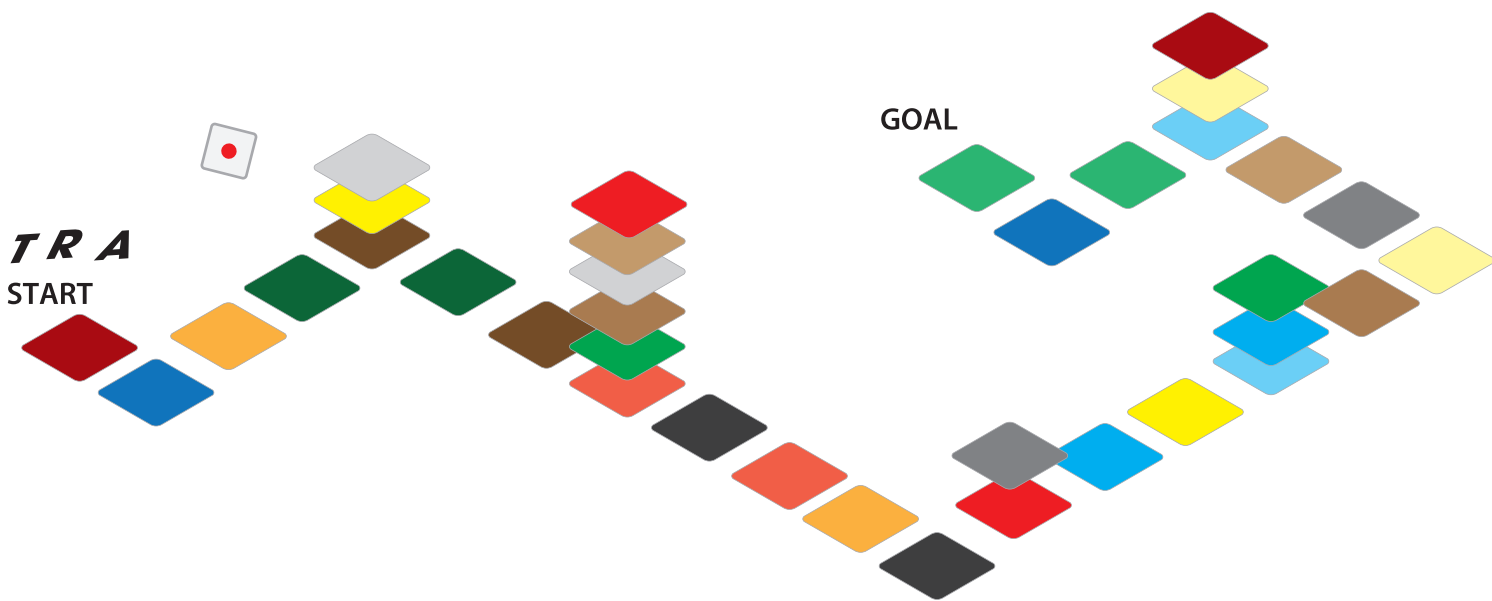
道と塔

プレイの人数：2～6人

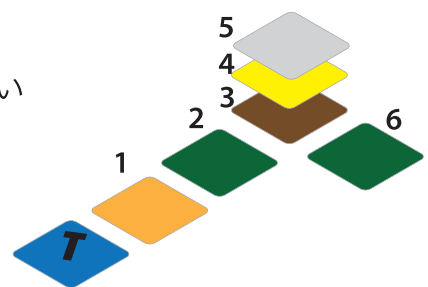
ゲームの目的：ゴールにいちばん最初にたどりつく。

ゲームの準備：色の面を上にしてカードを並べ、図のようなコースを作る。
「タワー」の高さは、最大で6枚にする。タワーは隣接して作ってはいけない。
ダイスをコースのそばに置く、

ゲームの順番：ダイスをふっていちばん大きな数を出した人から、時計回り。



1. ダイスをふり、出た目だけ進む。
タワーは階数もカウントし、タワーを超えられない場合は、タワーの手前のマスで止まる。
例：ダイスの目が5以上の場合は先に進めるが、3～4の場合は2の位置に留まる。



2. 協力プレイ
タワーの前に2人以上のプレイヤーがいる時、自分のターンのプレイヤーは、他のプレイヤーに「協力」を呼びかけることができる（しなくてもいい）。それぞれダイスをふった数を合計できる。
例：赤が4 + 青が3 = 合計7の場合、7の位置まで進める。
5以下の場合はもとの位置に留まる。
協力を呼びかけた次のプレイヤーから、通常通りプレイを続ける。

